

12月定例教育委員会会議録

開催年月日	令和5年12月22日(金)
開催時間	午前10時00分
開催場所	市役所本館 8階 第2委員会室
出席委員	浦上 教育長 村本 教育長職務代理者 水野 委員 岩井 委員 藤井 委員
出席職員	原田副教育長・小山教育監・木下次長・辻内次長兼生涯学習課長・川添教育政策課長・黒井学校教育推進課長・齊藤人権教育課長・山本学務給食課長・打抜教育センター所長・谷桂青少年会館長・岸安中青少年会館長

【浦上教育長】 それでは、12月の定例教育委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

まず、本日の会議録署名委員に村本委員を指名しますので、どうぞよろしくお願いいたします。なお、本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に規定する定足数を満たしているため、成立していることをご報告いたします。

{10月臨時会議録の承認}

【浦上教育長】 では、次第の1、10月の臨時教育委員会会議録の承認について、審議をいたします。委員の皆様方、何か質疑ございませんでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員、異議なしと認めます。よって10月の臨時会議録につきましては、承認と決しました。

{11月定例会議録の承認}

【浦上教育長】 続きまして、次第の2、11月定例教育委員会会議録の承認について、審議をいたします。委員の皆様、何か質疑ございませんでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員、異議なしと認めます。よって11月の定例会議録につきましても承認と決しました。

{教育長及び教育委員の報告}

【浦上教育長】 それでは、次第の3、教育長及び教育委員の報告に移ります。

まず、私の報告ですが、お手元の資料のとおりでございます。ご確認ください。

少し皆さん方に説明しておいたほうがいいものについては、今から説明します。まず、今年度、小学校で110周年記念式典が3つ行われました。そのうち2つが今回の曙川小学校と久宝寺小学校でございました。どちらの学校も伝統のある学校で、すばらしい子どもの演奏とか、式典もよかったと思います。市長も駆けつけてくださり、ご祝辞もいただきました。

12月6日（水）ですが、年賀状のはがきの贈呈式ということで、ミキハウスさんからご寄贈いただきました。今年は安中のひかりこども園に来ていただいて贈呈式を行いました。私も市長も参加しましたが、就学前のお子さん全員に年賀状の配付、それから小学生は1年生と2年生、2枚ずつを全員に配付ということで、相当な枚数のご寄附をいただいたことを申し添えておきます。小学生の分は裏面が白紙で、普通の年賀状と一緒にですが、認定こども園の分は塗り絵みたいになっています。本当にありがたい話で、絵を描けるようにしてあるので、贈呈式が終わった後、子どもたちは早速、色鉛筆でカラフルにいろいろな色を楽しそうに塗っていました。日本の伝統文化をしっかりと小さい頃から知る非常にすばらしい機会だなと思いました。

続いて、12月9日（土）、八尾菊花ライオンズクラブさんが毎年餅つき大会をされています。私も招待されて行きました。大体150名ほど参加されて、障害のある子どもたちや八尾国際交流センターの外国の方、ボランティアの方々、それから不登校の子どもたちやそのサポートをしているNPO法人さんの子どもたちと保護者、そしてボランティアスタッフ、こども食堂に参加している親子、そういう方々が一堂に会しました。すごい数でした。子どもたち一人ひとりが杵で餅をつく体験をさせてもらっていて、それを丸めて、きな粉とかしょうゆにつけて食べていましたが、とてもおいしそうにみんな頬張っていました。皆さんも、もし機会があれば、参加されてみてはと思います。毎年ありますので。防災公園でテントがありますので、雨でもできるので、よろしく願います。

12月10日（日）、八尾市英語スピーキングコンテストがございました。午前中は中学生の部、15校から2名ずつ、1年生の部、2年生の部ということで、合わせて30名。午後からは小学生の部で28校、各校1人ずつ代表が出場しました。私が感動したのは、昔と違って子どもたちが、普通に会話しているように、英語を堂々としゃべっている。だから、年々上達してきているというか、八尾の教育の中で英語教育を充実させていかないとあかんということで、ALTや、ネイティブのスピーカーさんが一生懸命子どもたちにいろいろなことを教えてくれるなあとは思いました。今後とも学校教育推進のほうで、英語教育をよろしく願いたいと思います。

それと最後ですけども、12月19日（火）、日本移植支援協会へ感謝状の贈呈式がございました。各学校に「大きな木」という、要するに移植することによって人の命が、尊い命が消えるのではなく続いていくということで、そういう移植を積極的に推進しているNPO法人ががございます。そこからの寄贈なんです。これはまた教育委員さんにご覧になってもらったらいいですけど、ぱっと見たとき、すごいカットがきれいで見やすい。（実

物を見せながら) こういうような感じです。すごくカットが上手で絵がきれいです。もちろん中身もそうなんですけども、これは学校の教材として使ってもらったら一番いいなと思います。「大きな木」というのは、ちょうど来年の1月20日に八尾プリズムホールで上映されます。日浦明大さんが監督で、この映画をつくられました。それともう一本、「ともる」という映画も上映されるみたいです。私この日は出席予定でして、もし日程が合えば見てくれはったらいなと思いますので、よろしく願います。以上、いくつか紹介させてもらいました。

では、各教育委員さん方でございましたら、報告のほうをお願いしたいと思いますが、どうでしょうか。

【岩井委員】 11月28日(火)の午後、高美小学校で大阪府教育庁「スクール・エンパワーメント推進事業 学校図書館を充実・活用するためのモデル校」の公開授業研究会がありましたので参加しました。研究主題は「調べたこと、考えたことをもとに伝えあいのできる子どもの育成」で、サブタイトルが「互いを大切にしあえるコミュニケーション能力」と設定され、各学年、国語をはじめ様々な教科を横断して研究を進めておられました。学校図書館というと、「ゆったりと本を読める場所」という「読書センター」のイメージが先行するのですが、学習センター機能や情報センター機能もありますので、高美小学校では学校図書館は「教科学習と関わって学習する場所」として、教職員の意識変革をさせていくことから研究を始められたということでした。私は、それがその後の研究推進の鍵になったのではないかと思います。また、学校図書館が持つ3つの機能を充実させる様々な取り組み、さらには教科横断的な授業づくりは、見せていただいて大変勉強になりました。学校図書館の活用は、八尾市全体の学力課題に直結した研究だと思いますので、研究成果が市内の学校にしっかりと広がることを期待しています。

それから、過日、11月7日(火)に行われた令和5年度近畿市町村教育委員会研修会のオンデマンド配信がありましたので、12月4日(月)に視聴しました。前回、村本委員からも報告があったのですが、内容は「学校の働き方改革について」で、講師の幸せ研究所の代表、澤田真由美氏による講演と、枚方市教育委員会の高山和子氏による事例発表、その後、質疑応答がありました。「働き方改革の推進」に関わって、全国各地の教育委員会から講師の澤田先生のところにもいろいろな相談があるそうですが、数年前は「働き方改革で何から始めたらいいかわからない」とか、「考え始めるきっかけがほしい」というような相談だったのが、最近は内容が変化してきて、「研修もしているのに効果が感じられない」とか、「校長からも学校内でやれることは全てやっていて、もうこれ以上は無理だ」というような声が聞かれる」とか、「学校格差があって、働き方改革に成功している学校もあるけれども、その横展開ができない」といったことが悩みとして出てきているとのことでした。

どこの市町村も同じような状況だなと思いつつ、今回、枚方市教育委員会の業務改善推進校の事例を聞かせていただいて、とても私自身、勉強になりました。中でも市教委と学校との関係性で、学校の主体性を最大限尊重しつつ、市教委が学校同士の横展開の場と時間をうまくつくって広げておられるところがよいなと思いました。

また、今年の8月29日には、文部科学大臣から緊急メッセージとして、「子どもたち

のための学校の働き方改革、できることを直ちに、一緒に」というのが出されていて、国は 2024 年度から 3 年間で改革集中期間としているということも知りました。一人ひとりの教師や学校長任せにせず、教育委員会も伴走レベルをしっかりと上げて取り組むことが大事で、必要だと改めて思いました。

【浦上教育長】 ありがとうございます。

【水野委員】 11 月 25 日（土）ですが、令和 5 年度 MOA 美術館八尾児童作品展の表彰式に教育長代理として参加させていただきました。教育委員会賞ということで、書写の部で非常に力強い字を拝見させていただきました。表彰式では、絵画、書写・書道の審査員の先生方からも様々なコメントをいただいて、本当に子どもたちの絵に感心しました。あと、校長先生も何名か来られて、表彰された子どもたちと一緒に歓談をしている姿、大変ほほえましく思いました。子どもたちの作品はこれから本選のほうに行くということで、また期待をしております。

それから、2 件は私の活動ですが非常に関連があるのでお話しします。

まず、11 月 28 日（火）にスタンドバイ株式会社の相談員との交流会に参加いたしました。八尾市からもいじめから子どもを守る課の心理士 2 名も参加いただいて、関東が 4 市町村、関西が 3 市町村のスタンドバイのいじめ相談でどういう問題があるかということでした。教育委員会が前面に出ている相談だと、いじめのほかさまざまな相談が上がってくるという。だから、どこの部局が開設しているかということと、相談の質がかなり変わってくるということと、学校と連携しなきゃいけないような相談もたくさんあって、そういうことをどうするかということで、対面のカウンセラーの経験もありますけど、本当に相談の数が尋常じゃないレベルというか、大阪市さんもやっていますけど、パソコンから簡単に入れるので、今後 SNS による相談というのが、やっぱり子どもの悩み相談の 1 つの有力なチャンネルにならざるを得ないんだなということをおもいました。

それから 12 月 5 日（火）なんですけども、これも人権教育課の齊藤課長にご相談をして、いろいろご配慮いただいて、西山本小学校で「SOS の出し方教育」というのを実践してまいりました。これは私の研究なんですけども、人権教育課の担当の先生にも来ていただきまして、6 年生を対象に、1 時間ではありましたが、悩みをどうやって相談するか、SOS を出すかということで、事例を使ってやりました。どうなるかすごく心配していたんですけど、大阪大谷大学の四辻先生と私と、東京の立正大学の永井先生の 3 人で案を練りまして、非常に手応えがありました。今度、2 月に小学校 5 年生に対して本実施をいたします。効果測定もして、できたら八尾市さんにも、うまくいったら何かお返しできるように考えております。引き続きよろしくお願ひします。

【浦上教育長】 どうもありがとうございます。

【藤井委員】 昨日、12 月 21 日（木）に令和 5 年度市町村教育委員会研究協議会後期のオンライン研修会に参加させていただきました。事前に各 20 分程度の動画にまとめた文科省からの講義動画を見てからの参加という形で、参加しやすいといひますか、非常に中

身の濃いお話を聞くという形でしたので、私としては整理をしながら拝聴することができたのでよかったですと思いました。

まず、初等中等教育施策の動向についてということで、文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課長の堀野様より、60分間、動向に向けての説明がございました。実はレジュメも送っていただいていたんですが、137ページにわたるものでして、到底60分では説明し切らないというような中身の非常に濃いものでしたが、60分をフルに使って、かいつまんでポイントポイントをご説明くださいました。やはりその中でも文科省としましては、先生の働き方改革もそうですし、部活動の地域移行の話もそうなんですけれども、その中でも不登校といじめの対策について、特に時間を割いてお話をされていたように思います。懸念事項としては、全国的にも約4割の不登校数の児童生徒がどこともつながっていない、相談機関ともつながっていない状態であるという統計が出てきているようでして、文科省としてもこれは非常に懸念をしているというお話をされていました。

後半はグループ協議がございました。昨日は全国から教育長、教育委員さんたちが集まられていましたので、私はその中で不登校・いじめ対策のところのグループ協議に参加させていただきました。私のグループでは、私を含めて5名の参加でして、その中で事前にファシリテーターをお願いするというふうに文科省のほうから連絡があったということで、拙いながら司会をさせていただいたんですが、参加者としてしましては、まず秋田市の教育委員さんと、それから東京都江東区の教育委員さん、兵庫県明石市の教育委員さん、和歌山県和歌山市の教育委員さんが参加されておりました。八尾市の取り組みの発表としましては、いじめの件につきましては、先ほど水野委員がおっしゃっていた脱いじめ傍観者教育のお話をさせていただきましたのと、いじめから子どもを守る課との連携のようなお話をさせていただきました。あとは、不登校の関連につきましては、二次元バーチャル空間を活用した人との交流を中心としたオンラインでの居場所の取り組みや、オンライン上で学習活動を行うオンライン学習支援の取り組み、あとは市内に2か所あります青少年会館を利用した居場所づくり、それから学生サポーターを派遣するホットハートサポーター派遣、あと教育センターによる教育相談やさわやかルームの設置等々、そういった紹介をさせていただきました。

他市の教育委員さんからのお話で、非常にすごいなとみんなで言っていた件が、まずは東京都江東区の方の発表で、いじめの見逃しゼロを目指すということで、いじめ発見チェックリストというもので、詳細までこういう見逃しがないかというのを、先生方にチェックしていくようなものをつくっておられて、それが非常に有効に活用できているんじゃないかというお話をされていました。それと、同じく江東区では、スクールカウンセラーさんが各校2名常駐しているというお話をされていまして、ほかの市も含めて、みんな羨ましいなど。スクールカウンセラーの件につきましては、このグループ討議が終わった後、文科省のほうへの質問で、やはり一番たくさん出ていまして、スクールカウンセラーさん本当に足りてないんだと、どちらの市も訴えておられて、文科省に向けて何とかしてくれという発信をされていました。

あとは、秋田市ですけれども、秋田市のほうの取り組みで、フレッシュフレンド派遣事業というのをされていると。これは何かといいますと、不登校及びひきこもり傾向の児童生徒の家庭に心理系の大学生が訪問し、おうちに訪問して交流や相談活動を行うというこ

とをされているということで、令和4年度の実績でいくと派遣回数が143回、派遣学生が10名に上るということで、八尾市でも大学生の方がやっているサポーター、青少年会館への学生サポーターを派遣するホットハートサポーター派遣というのをされているんですが、秋田市の場合は自宅のほうにということ、いわゆるアウトリーチですね、そちらのほうに取り組んでおられるということで、これもうちのグループの中では「へえ」ということで、みんな興味津々でいろいろ聞いていた次第です。

おかげさまで3時間半、学びの多い充実した時間でございます、そういった一つひとつ細かい、今発表し切れないものもございまして、また皆様に聞いていただければいいなというふうに思っております。

ありがとうございました。以上です。

【浦上教育長】 どうもありがとうございました。

藤井委員がオンライン上で他市と交流された内容は、原課では把握していますか。

【打抜教育センター所長】 藤井委員のほうに御参加されるということをお知らせし、教育センターのほうにもいただいておりますので、教育センターのほうからご参加される際の資料等を藤井委員のほうにお渡しさせていただきます。

【浦上教育長】 いじめのほうは。

【齊藤人権教育課長】 私のほうについては、把握はしてはおりませんでしたけれども、今お話をお聞きして、チェックリストのことについては、しっかり検討していきたいなというふうに思っております。

【浦上教育長】 ありがとうございます。

何で聞いたかという、私たち教育委員とか教育長は、外部で発信するでしょ。発信したときに、これうちでやってみようというときに、問い合わせを受けることがありますよね。どこからそれが入ってきたのかというのが、事務局のほうにびっくりすることもあるでしょ。だから、私は藤井委員が今話していたことに対して、把握しているかどうかだけを確認したかったんです。そうでないと混乱が生じるときある。教育委員のほうも外部で発言するときは、基本的には原課のほうにちゃんとお伝えしといてほしいということで、お願いしたいと思います。

以上でございます。あとは特にはないですね。ないようですので、次に進みます。

{議案審議}

【浦上教育長】 次第の4、議案審議に入ります。

議案第30号「八尾市いじめ調査委員会委員の委嘱の件」につきまして、審議をいたします。

提案理由の説明を齊藤人権教育課長よりさせていただきます。

【齊藤人権教育課長】 よろしくお願ひします。議案第 30 号「八尾市いじめ調査委員会委員の委嘱の件」につきましてご説明いたします。

本件は、教育長に対する事務委任等に関する規則第 2 条第 7 号の規定により、委員会の議決を求めるものでございます。

いじめ防止対策推進法第 28 条第 1 項に規定するいじめ重大事態が生起し、事実関係を明確にするための調査を行う必要が生じた場合、八尾市いじめ問題対策連絡協議会等条例第 6 条の規定に基づき、調査を担っていただく委員を委嘱する必要があることから、本案を提出する次第でございます。

このたび、委員の任期満了となるため、備考に旧委員のお名前を記載している方 2 名を新たに迎え、教育、法律、心理等に関し専門の学識経験を有する者として、弁護士 2 名、心理学博士、臨床心理士、スクールソーシャルワーカー各 1 名の計 5 名の方を委員として委嘱するものでございます。

なお、任期につきましては、令和 5 年 12 月 22 日から令和 7 年 12 月 21 日までの期間でございます。

以上、誠に簡単な説明でございますが、提案理由の説明といたします。よろしくご審議の上、ご承認賜わりますようお願い申し上げます。

【浦上教育長】 ただいま提案理由の説明がございましたが、委員の皆様方、何か質疑等ございませんでしょうか。

【村本委員】 2 名の方が新しく交代されて入られたということですが、2 名とも専門は以前の方と同じということでしょうか。

【齊藤人権教育課長】 そのとおりでございます。このたびは任期の変更により、各所属のところから御紹介していただいた方ということで、新たに 2 名をご推薦いただいているところです。

【浦上教育長】 ありがとうございます。

ほかどうでしょう。

【岩井委員】 任期満了に伴う改選となるのですが、土橋先生とか大松先生はこれまで何年していただいたのでしょうか。

【齊藤人権教育課長】 土橋委員には 2 年、大松委員には 6 年していただきました。

【岩井委員】 2 名の先生には、いじめの重大事態への対処ということで、細かな配慮が欠かせない調査の会議や作業がずっと続く状況で、長い間、八尾の子どもたちのために力を尽くしていただきましたこと、本当にありがとうございます。心からお礼申し上げます。

【浦上教育長】 ありがとうございます。

【水野委員】 22 日から任期ということで、ここの取りまとめの先生とかは、また合議制によって決まっていくという理解でよろしいですか。

【齊藤人権教育課長】 はい、そのとおりでございます。今、岩井先生からありましたが、本当に細かく、また回数も多く集まっていたいただいて、八尾の子どものために努力をしていただいていますので、またよろしくお願ひしたいと思ひます。

【浦上教育長】 ほかにはどうですか。特にはないですか。

それでは、ないようですので、採決に移らせていただきます。

議案第 30 号につきまして、原案どおり可決することにご異議ございませんでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員異議なしと認めます。よって、議案第 30 号「八尾市いじめ調査委員会委員の委嘱の件」につきましては、原案どおり可決いたしました。

それでは引き続きまして、議案第 31 号「八尾市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱及び任命の件」につきまして審議をいたします。

提案の説明を齊藤人権教育課長からお願いします。

【齊藤人権教育課長】 議案第 31 号「八尾市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱及び任命の件」につきましてご説明いたします。

本件は、教育長に対する事務委任等に関する規則第 2 条第 7 号の規定により、委員会の議決を求めるものでございます。

提案理由でございますが、いじめ防止対策推進法第 14 条第 1 項に規定されているいじめの防止等に関係する機関及び団体の連携を図るため、八尾市いじめ問題対策連絡協議会等条例第 1 条の規定に基づき、委員を委嘱及び任命する必要があるため、本案を提出する次第でございます。

資料をご覧ください。

連絡協議会は、8 月にも一度、5 名の改選に伴う委嘱及び任命について議案のご確認をいただきましたが、このたび、全委員の任期満了に伴い、改めて委員を委嘱及び任命する必要があるためご提案するものでございます。

委員の任期につきましては、八尾市いじめ問題対策連絡協議会等条例第 4 条第 1 項の規定に基づき、令和 5 年 12 月 22 日から令和 7 年 12 月 21 日までの 2 年間でございます。

以上、誠に簡単な説明でございますが、提案理由の説明といたします。よろしくご審議の上、ご承認賜われますようお願い申し上げます。

【浦上教育長】 ただいま提案理由の説明がございましたが、委員の皆様、何か質疑等ご

ございませんでしょうか。

【水野委員】 先ほど教育委員の活動で申し上げたんですけど、相談員と交流していて、八尾市いじめから子どもを守る課の方というのは、ここに加わったりしているのでしょうか。そこがすごく大事ななと思ったんです。

【齊藤人権教育課長】 いじめから子どもを守る課の位置づけですが、人権教育課とともに、この連絡協議会の事務局を担っている立場にあります。

【水野委員】 そこで先生方、委員との交流とか意見交換の場も十分あるということですね。ありがとうございます。

【浦上教育長】 ほか、委員さん方どうでしょうか。

【岩井委員】 この連絡協議会というのは、年に何回ぐらい、どのような内容で開催されているのかということと、12月になっていますので、今年度の実施状況も教えていただけますか。

【齊藤人権教育課長】 活動内容でございますが、本市のいじめ防止等のために必要な事柄に対しての連絡や協議ということで、具体的には年2回の会議を実施しております、本市のいじめの状況や学校、あるいは教育委員会の取り組みの内容について共有をさせていただいたり、学識経験を有する委員による研修会などを実施したりしております。

今年度は第1回目につきましては、昨年度の本市のいじめの件数でありますとか、対応の内容等について共有をさせていただきました。その際には、前回ご紹介しましたような子どもサミットについてということもあって、参加いただいたということでございます。

次回についても、研修や今後の在り方についての協議をしたいと考えております。

【浦上教育長】 ありがとうございます。

ほかどうでしょうか。ないようですので、採決に移らせていただきます。議案第31号につきまして、原案どおり可決することに対してご異議ございませんでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員異議なしと認めます。よって、議案第31号「八尾市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱及び任命の件」につきまして、原案どおり可決いたしました。

【浦上教育長】 続きまして、次第5、その他に入ります。事務局から何かございますでしょうか。

【事務局】 特にございません。

【浦上教育長】 ないようですので、以上をもちまして、12 月定例教育委員会を終了したいと思います。どうも皆さん、ありがとうございました。

(署 名) 浦上教育長

村本委員
